



発行者  
香川県生活科教育研究会会長  
高橋 英弉  
発行日 平成18年12月10日

NO. 17

## 今回の内容「振り返り学習の連続の課程の中における国語力」

### 1 趣旨

本単元「大好きわたしたちの学校」では、子どもが学校の施設を利用したり、先生や友だちなどとの関わりを深めたりしながら、学校生活を豊かに広げていくことを目指している。

本実践においては具体的な活動や体験を通して得た気づきを質的に高めるために、以前の体験や表現活動に振り返り、気づきを深めていく「振り返り学習」を充実させて取り組んでいく。そして新たなめあてをもってもう一度学校で働く人の仕事ウォッチングをすることで、多様な情報を読みとる力を高めていきたい。さらに、学習したことを詩やすぐろくにまとめたり、全校生や家庭に学習したことを発信したりする言語体験を通して、自分の思いや願いや考えを表現する力を高めていきたい。

### 2 単元構成 ーしごとウォッチングをしようー

① 学校が楽しく安心してらせるのは、どうしてだろう。	課題をもつ
② 仕事ウォッチングに行こう I ・グループごとに学校で働いている先生方の仕事ウォッチングをする。	活動・体験
③ 報告会をしよう。 I ・仕事ウォッチングをしてわかったことを友達に知らせる。	気づき
④ 仕事ウォッチングに行こう II ・仕事の秘密を見つける。	活動・体験
⑤ 発表会をしよう ・取材カードからみんなに知らせたいことを探す。 ・劇やペープサートを作って発表の練習をする。 ・仕事の大変さ仕事の工夫、働く人の思いや願いがあることに気づく。	思考・表現 知的な気づき
仕事ウォッチングに行こう III (休み時間) ・新たな疑問をもって仕事ウォッチングをする。 報告会をしよう II (朝の会・帰りの会)	活動・体験 思考・表現
⑥ まとめよう ・学校すぐろくを作って友だちやお家の人とする。	知的な気づき 知的な気づきの深まり 知の実践化

振り返り      その1

振り返り      その2

### 3 振り返り学習の連続の課程

#### 《学習課題をもつ》

楽しく学校へ来ている子どもたちに「学校が楽しいのはどうしてだろう？」と教師からの投げかけると、「友達がいるから，遊具があるから，いろいろな部屋があるから，先生方がいるから。」と子どもたちからの声。「先生方ってどんな仕事をしているの？みんなと関係があるの？」と自分と学校にいる人のかかわりを意識し，課題解決学習に入っていった。

#### 《仕事ウォッチングに行こう》

学校探検からくわしく調べたい5人の先生方を決め、仕事ウォッチングに出かけた。(事前に5人の先生方とは学習のねらいを打ち合わせしておいた。)

子どもたちは「顔を描いてこよう。仕事を見てこよう。仕事場にあるものを10個ぐらい見つけて来よう。」とめあてをもって出かけた。「これは何ですか？」と質問をしたり，それぞれの先生方からの問いかけに答えながら見たもの，聞いたこと，一緒に仕事をしたことなどの発見をもって帰ってきた。

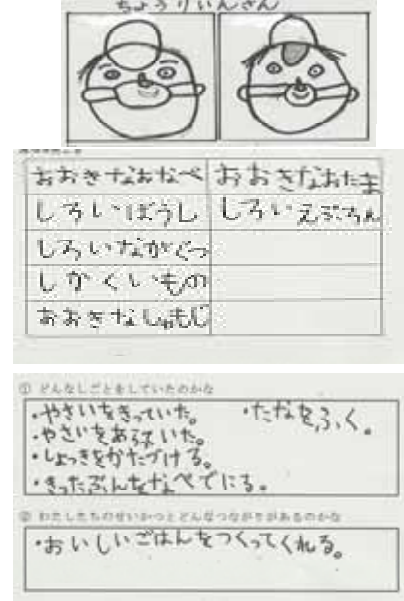
(増えていった気づきの観点)

#### 《報告会をしよう》

探検で見たこと，したことを全体に報告しあい，5人の先生たちはわたしたちの学校生活とつながっていることが分かった。

- ・わたしたちが安全にらせるようにみまもってくれる。
- ・学校をきれいにしてわたしたちをきもちよくしてくれる。
- ・けがや病気の時にお世話をしてくれる。
- ・おいしいごはんを作ってくれる。
- ・音楽で楽しくしてくれる。

[調理員さんウォッチング]



< はじめのカード >

しかしこれでは終わらない。報告会で情報交換していると、働く人のうれしいことやつらいこと、仕事の秘密を聞いたり、もっと一緒に仕事がしてみたくなったりした。

今日みんなが言った事はだいたい知っているよ。まだ分からないことがあるよ。技能員さんはお花がきれいに咲いたらうれしいと言っていたよ。校長先生の嬉しいことは何だろう。聞いてみたいなあ。つらいこともあるのかな？

給食を作ってくれるのは知っているよ。ぼくはおいしい給食をつくる秘密を知りたいよ。

お花を玄関に飾るのがたのしかったよ。校長室のそうじも一緒にしてみたいよ。



そこでまた，新たなめあてをもって，仕事ウォッチングに出かけた。

《仕事ウォッチングに行こう》 - 振り返り学習 1 -

一緒に仕事をさせてもらおうと子どもたちは仕事の大変さ、仕事への思いなどに気付いていった。「プランターは大変重かったです。一人だと大変だなあと思いました。」「ぼくは給食を入れるところをしっかりとふきました。」など、子どもの取材カードには、新たな気付きが加えられていった。休み時間もその人の仕事を見に行ったり、声をかけたりしていた。そして発見したことは、教師に真っ先に報告しにきた。「4つの色のエプロンがあるけど、どうしてやる？なべの横のハンドルを回して、なべをひっくり返したすごいな。」など探究心はふくらみ、気付きが深まり、広がっていていると感じた。

《発表会をしよう》 - 振り返り学習 2 -

いっぱいになった取材カードからみんなに伝えたいこと（初めて知ったことや驚いたこと）に線を引き、グループごとに劇や動作化やペープサートやクイズで発表した。発表会では、発見を共有したり、新たなめあてがもてたりするように話形を示し、コミュニケーション力育成もめざした。



ゴミ出しは雨の日はしないのですか。どこへもっていくのですか？

幼稚園にはどんな部屋があるのですか？

質問します

なぜ4回もエプロンを替えるのですか？

校長先生はみんながきまりを守らないことがつらいですね。私はより道をしないで帰ります。

わたしもこうするよ



発表を聞いて、学校中の花の水やりをしているのことが分かりました。こしがいたいだろうなあと思っています。

わたしもそう思うよ

発表会で友だちから出た質問は「そうなんだコーナー」に書き再度ウォッチングに行き、解決していった。（報告会をしよう）

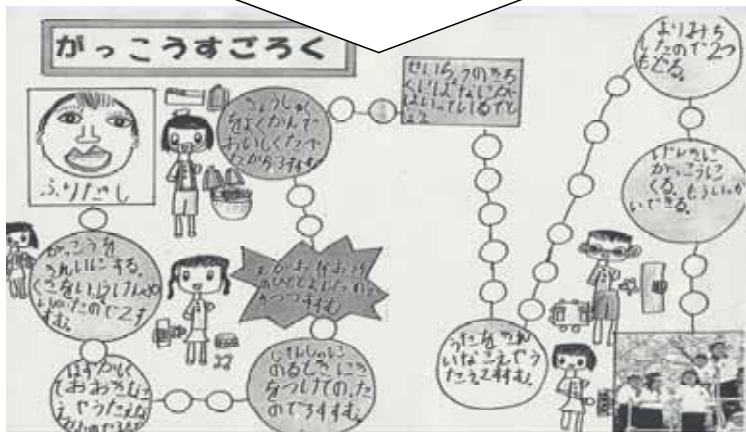
《詩を作る》

谷川俊太郎さんの「きゅうしょく」という詩は、パンができるまでにはたくさんの人々がかわかって私たちのところへ届いているという詩で、帰りの会で毎日暗唱していた。「それぞれの先生方の仕事は私たちの生活と深くつながっているんだよね。この詩みたいに詩が作れそうだね。」という教師の提案に、「わたしたちの学校」という題で詩を作った。取材や発表で心に残った言葉を選びみんなで作った。この詩は 帰りの会で、「給食」の詩に替わっていつの間にか動作を入れながら暗唱するようになった。

## 《「学校すごろく」にまとめる》 - 振り返り学習3 -

ウォッチングした先生方の仕事について、今までの取材カードや発表を振り返り、すごろくを作った。働く人の思いや願いは自分たちと深くかかわっていることに気付き、それを自分は生活の中でどう実践していくか「学校すごろく」に一人一人がまとめた。

- ・ピンクのカードはその人の願いで私が実行すること
- ・ブルーのカードは私がなかなかできていないこと
- ・ボーナスカードは探検で一番心に残ったこと
- ・グリーンカードは発表会でしたクイズ



このようにこまの内容を設定して、まとめやすくした。

子どもたちは「これからわたしはを守ろう。」「していこう。」という生活をよりよくしていこうとする意欲をもつことができた。参観日には、仕事ウォッチングの発表会をし、学んだことを見てもらった。すごろくは家に持って帰り、学校生活の話をしながらお家の人と一緒に楽しんだ。お家の人からは「家族と一緒にしました。学校生活がよく分かりました。先生方の仕事がよく分かり、子どもの実演もあってとてもおもしろかったです。」という返事をたくさんいただき、この学習で子どもの学校に対する認識が深まり、言語力も伸びたことを感じた。

## 《全校生に発信する》

「こんなに衛生に気を付けていても、エプロンを着けないで来る子、手を洗わないで来る子がいるの。こまるわ。」何度もウォッチングに行っていると調理さんがこんな悩みを話してくれた。これを聞いて、調理員さんからのお願いを入れて、劇やクイズに表し、全校生に訴えた。さっそく、給食委員会が動き、今では衛生面や返し方がよくなった。

心をこめてつくりましょう。



食缶を保管庫でぬくめましょう。

あつあつをいれましょう。